

6 医療

小児慢性特定疾病医療費の給付 児

〔対象者〕

18歳未満の児童（既にこの事業の対象となっており、18歳以後も引き続き治療が必要と認められる場合は20歳未満まで延長）

〔内容〕

対象となる疾病の治療を指定医療機関で受けたとき、被保険者の負担した額を助成します。なお、利用者負担については原則2割負担となります。ただし、世帯の所得等に応じて月額の上限額が設定されます。※小児慢性特定疾病医療費の給付には事前に申請が必要です。

対象疾病 (小児慢性特定疾患群)	悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血液疾患、免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患、骨系統疾患、脈管系疾患
---------------------	---

〔窓口〕

各区役所 保健福祉課 子ども・家庭相談係（122頁）

自立支援医療費（育成医療）の給付 児 身

〔対象者〕

18歳未満で、肢体不自由、視覚・聴覚・音声・言語・そしゃく機能障害、心臓・肝臓・腎臓・小腸、免疫機能又はその他の内臓の機能障害がある児童。

〔内容〕

確実な治療効果が期待される場合に、指定自立支援医療機関において受けた必要な治療の費用を助成します。

なお、利用者負担については原則1割負担となります。ただし、世帯の所得等に応じて月額負担上限額が設定されます。

※自立支援医療費（育成医療）の給付には事前に申請が必要です。

〔窓口〕

各区役所 保健福祉課 子ども・家庭相談係（122頁）

自立支援医療費（精神通院医療）の給付 精

〔対象者〕

精神疾患のため通院による精神医療を受けており、自立支援医療受給者証（精神通院）の交付を受けている人。

〔内容〕

精神疾患に係る指定医療機関において通院医療に要した費用を助成します。

なお、利用者負担については原則1割負担となります。ただし、世帯の所得等に応じて月額上限額が設定されます。

※自立支援医療費（精神通院医療）の給付には事前に申請が必要です。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）

自立支援医療費（更生医療）の給付者^①

〔対象者〕

18歳以上の身体障害者手帳所持者で、自立支援医療受給者証（更生医療）の交付を受けている人。

〔内容〕

生活上便宜を増すために障害を軽くしたり、機能を回復するために指定医療機関において受けた効果が期待できる必要な治療の費用を助成します。

（対象となる主な障害と治療例）

視覚障害…白内障→水晶体摘出手術、網膜剥離→網膜剥離手術、角膜混濁→角膜移植術

聴覚障害…鼓膜穿孔→穿孔閉鎖術、外耳性難聴→形成術

言語障害…外傷性又は手術後に生じる発音構語障害→形成術

肢体不自由…関節拘縮、関節硬直→形成術、人工関節置換術

内部障害…<心臓>弁口、心室心房中隔に対する手術、ペースメーカー埋込み手術

<腎臓>人工透析療法、腎臓移植術(抗免疫療法を含む)

<肝臓>肝臓移植術(抗免疫療法を含む)

<小腸>中心静脈栄養法

<免疫>抗H I V療法、免疫調節療法、その他H I V感染症に対する治療

なお、利用者負担については原則1割負担となります。

ただし、世帯の所得等に応じて月額の上限額が設定されます。

※自立支援医療費（更生医療）の給付には事前に申請が必要です。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）

重度障害者医療費の助成^②^③^④

〔対象者〕

次のいずれかに該当し、前年の所得（1～9月に申請する場合は前前年の所得）から、一定の控除額を差し引いた額が、下記の〔所得制限額〕未満である方

① 身体障害者手帳 1・2級

② 療育手帳 「A表示」

③ 精神障害者保健福祉手帳 1級

※65歳以上の方は後期高齢者医療制度に加入する必要があります。

生活保護を受けている人は、対象外です。

〔所得制限額〕（令和4年4月1日現在）

扶養親族の数	0人	1人	2人	3人
所得制限額	459.6万円	497.6万円	535.6万円	573.6万円

〔内容〕

医療費のうち、保険診療による自己負担額の全額を助成します。ただし、下記の内容は助成対象になりません。

・精神障害者保健福祉手帳1級の人の精神病床への入院医療費（18歳に達する日以後の最初の3月31日までは無料）

・訪問看護ステーションの訪問看護に要する費用の1割
（ただし、月限度額8,000円を超えた分は申請により払い戻し）

・入院時食事代（標準負担額）及び保険診療以外の医療費等（差額ベッド代、予防接種等）

※重度障害者医療証の交付を受けるには申請が必要です。

※訪問看護ステーションの訪問看護に要する費用については令和4年10月1日から全額助成対象です。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）

高齢者インフルエンザ予防接種事業 **者**

〔対象者〕

本人

市内に住む60～64歳の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害（身体障害者手帳1級程度）のある人

※市内に住む65歳以上の方は、すべての方が対象になります。

〔内容〕

インフルエンザワクチンの予防接種

接種費用1,500円（予定）

（生活保護受給者と市民税非課税世帯の方は、減免手続きにより接種費用が無料になります。）

補助は10月1日（予定）～3月31日までの年度期間中1回

身体障害者手帳を提示の上、市内の実施医療機関で接種を受けてください。

〔窓口〕

各区役所 健康相談コーナー（122頁）

高齢者用肺炎球菌予防接種事業 **者**

〔対象者〕

本人

市内に住む60～64歳の方で、心臓、腎臓、呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害（身体障害者手帳1級程度）のある人

※市内に住む、当該年度65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる方は、障害の有無に関わらず対象になります。

※ただし、いずれにおいても、過去に接種歴がある方は対象外です。

〔内容〕

高齢者用肺炎球菌ワクチンの予防接種

接種費用4,300円

（生活保護受給者と市民税非課税世帯の方は、減免手続きにより接種費用が無料になります。）

※公費接種は一人1回限り

※身体障害者手帳を提示の上、市内の実施医療機関で接種を受けてください。

〔窓口〕

各区役所 健康相談コーナー（122頁）

後期高齢者医療制度 **者** (身)(知)(精)

〔対象者〕

- ◆75歳以上の方（75歳の誕生日から対象）
- ◆65歳以上75歳未満で一定の障害について広域連合の認定を受けた方（認定を受けた日から対象）

〔内容〕

次のいずれかに該当する障害のある65歳以上75歳未満の方は、この制度を運営する福岡県後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という）において、障害の程度等を認定した日から、被保険者となります。

- ①国民年金法による障害の等級が1・2級の方
- ②身体障害者手帳1～3級、音声・言語機能障害4級又は下肢障害4級の一部のいずれかに該当する方
- ③精神障害者保健福祉手帳1・2級の方
- ④療育手帳「A」に該当する方
- ⑤上記以外で医師の診断により広域連合長が認定した方

※この制度の被保険者になるためには、広域連合に申請する必要があります。

〔保険料〕

この制度の被保険者になると保険料をお支払いいただくことになります。保険料は全ての被保険者一人ひとりに賦課されます。

<令和4年度の料率>

$$\text{保険料額} = \text{均等割額 (56,435 円)} + \text{所得割額 (【被保険者の総所得金額等(※1) - 基礎控除額(※2)】 \times 10.54\%)} \\ \text{【賦課限度額 66 万円】}$$

※1 「総所得金額等」とは、前年中の「公的年金等収入－公的年金等控除額」、「給与収入－給与所得控除額」、「事業収入－必要経費」等の合計額で、各種所得控除前の金額です。

※2 「基礎控除額」とは、合計所得金額が2,400万円以下の場合43万円ですが、2,400万円を超える場合は異なります。

- 保険料の料率は福岡県内均一で、2年ごとに広域連合が決定します。
- 低所得者には保険料の軽減措置があります。

〔窓口〕

各区役所 国保年金課（122頁）

〔問合せ〕

各区役所 国保年金課のほか、広域連合（TEL 092-651-3111）まで

特定医療費（指定難病）の助成 （難）

〔対象者〕

国が指定する難病（指定難病）にかかっている方で、①病状の程度が一定以上の方、もしくは②高額な医療を継続することが必要な方

〔内容〕

指定難病及び当該指定難病に付随して発現する疾病の治療にかかる医療費（保険診療による自己負担分）の一部を助成します。また、所得状況に応じて自己負担上限月額が設定されています。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）

医療費助成対象疾病〔指定難病〕一覧（338疾病）

病名	※告示の番号	病名	※告示の番号
あ		う	
アイカルディ症候群	135	ウィーバー症候群	175
アイザックス症候群	119	ウィリアムズ症候群	179
1 g A 腎症	66	ウィルソン病	171
1 g G 4 関連疾患	300	ウエスト症候群	145
亜急性硬化性全脳炎	24	ウェルナー症候群	191
悪性関節リウマチ	46	ウォルフラム症候群	233
アジソン病	83	ウルリッヒ病	29
アッシャー症候群	303	え	
アトピー性脊髄炎	116	HTLV-1 関連脊髄症	26
アペール症候群	182	ATR-X 症候群	180
アラジール症候群	297	エーラス・ダンロス症候群	168
α_1 -アンチトリプシン欠乏症	231	エプスタイン症候群	287
アルポート症候群	218	エプスタイン病	217
アレキサンダー病	131	エマヌエル症候群	204
アンジェルマン症候群	201	遠位型ミオパチー	30
アントレー・ビクスラー症候群	184	お	
い		黄色靭帯骨化症	68
イソ吉草酸血症	247	黄斑ジストロフィー	301
一次性ネフローゼ症候群	222	大田原症候群	146
一次性膜性増殖性糸球体腎炎	223	オクシピタル・ホーン症候群	170
1 p 3 6 欠失症候群	197	オスラー病	227
遺伝性自己炎症疾患	325	か	
遺伝性ジストニア	120	カーニー複合	232
遺伝性周期性四肢麻痺	115	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	141
遺伝性睥炎	298	潰瘍性大腸炎	97
遺伝性鉄芽球性貧血	286	下垂体性ADH分泌異常症	72

病名	※告示の番号
下垂性ゴナドトロピン分泌亢進症	76
下垂性成長ホルモン分泌亢進症	77
下垂性TSH分泌亢進症	73
下垂性PRL分泌亢進症	74
下垂性前葉機能低下症	78
家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	79
家族性地中海熱	266
家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）	336
家族性良性慢性天疱瘡	161
カナバン病	307
化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	269
歌舞伎症候群	187
ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	258
カルニチン回路異常症	316
肝型糖尿病	257
間質性膀胱炎（ハンナ型）	226
環状20番染色体症候群	150
完全大血管転位症	209
眼皮膚白皮症	164
き	
偽性副甲状腺機能低下症	236
ギャロウェイ・モワト症候群	219
球脊髄性筋萎縮症	1
急速進行性糸球体腎炎	220
強直性脊椎炎	271
巨細胞性動脈炎	41
巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	279
巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	280
巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	100
巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	278
筋萎縮性側索硬化症	2
筋型糖尿病	256
筋ジストロフィー	113
く	
クッシング病	75
クリオピリン関連周期熱症候群	106
クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	281

病名	※告示の番号
クルーゾン症候群	181
グルコーストランスポーター1欠損症	248
グルタル酸血症1型	249
グルタル酸血症2型	250
クロウ・深瀬症候群	16
クローン病	96
クロンカイト・カナダ症候群	289
け	
痙攣重積型（二相性）急性脳症	129
結節性硬化症	158
結節性多発動脈炎	42
血栓性血小板減少性紫斑病	64
限局性皮質異形成	137
原発性高カイロミクロン血症	262
原発性硬化性胆管炎	94
原発性抗リン脂質抗体症候群	48
原発性側索硬化症	4
原発性胆汁性胆管炎	93
原発性免疫不全症候群	65
顕微鏡的多発血管炎	43
こ	
高IgD症候群	267
好酸球性消化管疾患	98
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	45
好酸球性副鼻腔炎	306
抗糸球体基底膜腎炎	221
後縦靭帯骨化症	69
甲状腺ホルモン不応症	80
拘束型心筋症	59
高チロシン血症1型	241
高チロシン血症2型	242
高チロシン血症3型	243
後天性赤芽球癆	283
広範脊柱管狭窄症	70
膠様滴状角膜ジストロフィー	332
コケイン症候群	192
コステロ症候群	104
骨形成不全症	274

病名	※告示の番号	病名	※告示の番号
5p欠失症候群	199	進行性核上性麻痺	5
コフィン・シリズ症候群	185	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	338
コフィン・ローリー症候群	176	進行性骨化性線維異形成症	272
混合性結合組織病	52	進行性多巣性白質脳症	25
さ		進行性白質脳症	308
鰓耳腎症候群	190	進行性ミオクロースてんかん	309
再生不良性貧血	60	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	214
再発性多発軟骨炎	55	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	213
左心低形成症候群	211	す	
サルコイドーシス	84	スタージ・ウェーバー症候群	157
三尖弁閉鎖症	212	スティーヴンス・ジョンソン症候群	38
三頭酵素欠損症	317	スミス・マギニス症候群	202
し		せ	
CFC症候群	103	脆弱X症候群	206
シェーグレン症候群	53	脆弱X症候群関連疾患	205
色素性乾皮症	159	成人スチル病	54
自己貪食空胞性ミオパチー	32	脊髄空洞症	117
自己免疫性肝炎	95	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	18
自己免疫性後天性凝固因子欠乏症（注）	288	脊髄髄膜瘤	118
自己免疫性溶血性貧血	61	脊髄性筋萎縮症	3
シトステロール血症	260	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	319
シトリン欠損症	318	前眼部形成異常	328
紫斑病性腎炎	224	全身性アミロイドーシス	28
脂肪萎縮症	265	全身性エリテマトーデス	49
若年性特発性関節炎	107	全身性強皮症	51
若年発症型両側性感音難聴	304	先天異常症候群	310
シャルコー・マリー・トゥース病	10	先天性横隔膜ヘルニア	294
重症筋無力症	11	先天性核上性球麻痺	132
修正大血管転位症	208	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	330
ジュベール症候群関連疾患	177	先天性魚鱗癬	160
シュワルツ・ヤンペル症候群	33	先天性筋無力症候群	12
徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	154	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	320
神経細胞移動異常症	138	先天性三尖弁狭窄症	311
神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	125	先天性腎性尿崩症	225
神経線維腫症	34	先天性赤血球形成異常性貧血	282
神経フェリチン症	121	先天性僧帽弁狭窄症	312
神経有棘赤血球症	9	先天性大脳白質形成不全症	139

(注) 自己免疫性後天性凝固第X因子欠乏症は、指定難病288(自己免疫性後天性凝固因子欠乏症)へ統合

病名	※告示の番号
先天性肺静脈狭窄症	313
先天性副腎低形成症	82
先天性副腎皮質酵素欠損症	81
先天性ミオパチー	111
先天性無痛無汗症	130
先天性葉酸吸収不全	253
前頭側頭葉変性症	127
そ	
早期ミオクロニー脳症	147
総動脈幹遺残症	207
総排泄腔遺残	293
総排泄腔外反症	292
ソトス症候群	194
た	
ダイヤモンド・ブラックファン貧血	284
第14番染色体父親性ダイソミー症候群	200
大脳皮質基底核変性症	7
大理石骨病	326
高安動脈炎	40
多系統萎縮症	17
タナトフォリック骨異形成症	275
多発血管炎性肉芽腫症	44
多発性硬化症／視神経脊髄炎	13
多発性嚢胞腎	67
多脾症候群	188
タンジール病	261
単心室症	210
弾性線維性仮性黄色腫	166
胆道閉鎖症	296
ち	
遅発性内リンパ水腫	305
チャージ症候群	105
中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	134
中毒性表皮壊死症	39
腸管神経節細胞僅少症	101

病名	※告示の番号
て	
TNF受容体関連周期性症候群	108
低ホスファターゼ症	172
天疱瘡	35
と	
禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	123
特発性拡張型心筋症	57
特発性間質性肺炎	85
特発性基底核石灰化症	27
特発性血小板減少性紫斑病	63
特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	327
特発性後天性全身性無汗症	163
特発性大腿骨頭壊死症	71
特発性多中心性キャッスルマン病	331
特発性門脈圧亢進症	92
ドラベ症候群	140
な	
中條・西村症候群	268
那須・ハコラ病	174
軟骨無形成症	276
難治頻回部分発作重積型急性脳炎	153
に	
22q11.2欠失症候群	203
乳幼児肝巨大血管腫	295
尿素サイクル異常症	251
ぬ	
ヌーナン症候群	195
ね	
ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	315
ネフロシス	335
の	
脳クレアチン欠乏症候群	334
脳髄黄色腫症	263
脳表ヘモジデリン沈着症	122
膿疱性乾癬（汎発型）	37
嚢胞性線維症	299

病名	※告示の番号
は	
パーキンソン病	6
バージャー病	47
肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	87
肺動脈性肺高血圧症	86
肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	229
肺胞低換気症候群	230
ハッチンソン・ギルフォード症候群	333
バッド・キアリ症候群	91
ハンチントン病	8
ひ	
P C D H 1 9 関連症候群	152
非ケトーシス型高グリシン血症	321
肥厚性皮膚骨膜炎	165
非ジストロフィー性ミオトニー症候群	114
皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	124
肥大型心筋症	58
左肺動脈右肺動脈起始症	314
ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	239
ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	238
ビッカースタッフ脳幹脳炎	128
非典型溶血性尿毒症症候群	109
非特異性多発性小腸潰瘍症	290
皮膚筋炎／多発性筋炎	50
表皮水疱症	36
ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	291
ふ	
V A T E R 症候群	173
ファイファー症候群	183
ファロー四徴症	215
ファンconi貧血	285
封入体筋炎	15
フェニルケトン尿症	240
複合カルボキシラーゼ欠損症	255
副甲状腺機能低下症	235
副腎白質ジストロフィー	20
副腎皮質刺激ホルモン不応症	237

病名	※告示の番号
ブラウ症候群	110
プラダー・ウィリ症候群	193
プリオン病	23
プロピオン酸血症	245
へ	
閉塞性細気管支炎	228
β-ケトチオラーゼ欠損症	322
ベーチェット病	56
ベスレムミオパチー	31
ペリー症候群	126
ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	234
片側巨脳症	136
片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	149
ほ	
芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	323
発作性夜間ヘモグロビン尿症	62
ホモシスチン尿症	337
ポルフィリン症	254
ま	
マリネスコ・シェーグレン症候群	112
マルファン症候群	167
慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	14
慢性血栓塞栓性肺高血圧症	88
慢性再発性多発性骨髄炎	270
慢性特発性偽性腸閉塞症	99
み	
ミオクロニー欠伸てんかん	142
ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	143
ミトコンドリア病	21
む	
無虹彩症	329
無脾症候群	189
無βリポタンパク血症	264
め	
メープルシロップ尿症	244
メチルグルタコン酸血症	324

病名	※告示の番号	病名	※告示の番号
メチルマロン酸血症	246	り	
メビウス症候群	133	リジン尿性蛋白不耐症	252
メンケス病	169	両大血管右室起始症	216
も		リンパ管腫症／ゴーハム病	277
網膜色素変性症	90	リンパ脈管筋腫症	89
もやもや病	22	る	
モワット・ウィルソン症候群	178	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	162
や		ルビンシュタイン・テイビ症候群	102
ヤング・シンプソン症候群	196	れ	
ゆ		レーベル遺伝性視神経症	302
遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	148	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	259
よ		レット症候群	156
4p欠失症候群	198	レノックス・ガストー症候群	144
ら		ろ	
ライソゾーム病	19	ロスムンド・トムソン症候群	186
ラasmussen脳炎	151	肋骨異常を伴う先天性側弯症	273
ランドウ・クレフナー症候群	155		

※指定難病は、厚生科学審議会の意見を聴いて厚生労働大臣が指定します。（令和3年11月現在）

※指定難病（1～338）は、医療費助成対象疾病の告示番号です。

特定疾患治療研究事業による助成

〔対象者〕

特定疾患治療研究事業の対象疾患

番号	疾患名
1	スモン
2	難治性の肝炎のうち劇症肝炎
3	重症急性膵炎
4	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）

上記2、3の疾患・・・更新受付のみ

〔内容〕

対象疾患及び当該疾患に付随して発現する疾病の治療にかかる医療費の助成
所得状況に応じて自己負担があります。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）